

### 3 研究の角度

各教科書における取扱の状況を学校における実際指導の立場から、比較検討し各種教科書の各分野にわたって研究するものであって、その優劣を総合的に判定するようなことを目的とするものではない。

### 4 研究の進め方

研究参加者は、当該教科書センターを中心とする出張所の指導にもとづき、管内小・中学校教員ができるだけ多く参加するよう配慮した。

この研究は常に研究参加者による綿密な共同研究および討議が行われ、適宜種々の研究討議のための会合をもつようにし、それらが有機的に組立てられて、研究がまとめられるようにしたい。

### 5 研究実施の時期

各出張所の指導により、当該教科書センターごとに定めたが、昭和三十三年度使用教科書の採択が終つてからはじめ三十三年三月末日までに終了することにした。

### 6 研究結果の処理

研究結果は各教科それぞれ、四百字詰め原稿用紙百枚から二百枚程度の分量の報告書にまとめ、県教委に三十部提出し、そのうちより文部省へ各三部、各教科書センターに各一部づつ配布するよう措置した。

## 三、昭和三十三年使用教科書の採択について

### 1 教科書展示会

展示会は七月六日より十日までの五日間、県下十五か所において開催された、今年度は臨時分館も開設されてあるので、教科書の採択研究には買けんするこ

とが多かった。展示場は、原則として教科書センターをあてることにしているが、研究のための参加者・会場の都合でセンター所在地の適当な場所を、会場にあてた。

### 2 採択の方針

小・中学校用教科書の採択については「教科書採択に関する協議会」（県教委側委員六名、市町村教委側六名）を設け、採択方針を決定した。

採択方針は報告、通知日の変更のほかは昨年と同様である。

○教科書展示運営費について

文初教第四五一（三二・九・一三）によつて昭和三十二年教科書展示場運営費国庫補助が内定され、追加予算として二十万七千円の経費が経上された。各教科書研究にはそれぞれ研究費として一万八千円の配分を行うとともに、教科書センターにも管理費として配分するよう措置した。

## 第五節 高等学校入学者選抜をどう行つたか

昭和三十三年度高等学校入学者選抜に關しては、昭和三十一年七月十二日「対策委員会」を開催、慎重審議した。その答申にもとづき選抜要項案が作られたが、前年度と比較しての改正点はつぎのとおりである。

1 同一学校においては第三志望まで出願を認める。

2 指導要録の改訂にもとづき、報告書にふくまれる字句を左のとおり改めた。

学習成績の発達記録—学習の記録  
個人的社会的公民的発達記録—行動の記録

職業的発達記録—進路に関する記録  
身体の発達記録—身体の記録

知能検査—標準検査の記録  
3 指導要録改訂にもとづき報告書の様式を改めた。

以上のような要項案は八月定例教育委員

## 第六節 県立学校訪問をどう実施したか

昨年度にひきつづき、つぎの要項にもとづいて県立学校の訪問を実施し、その所見を県立学校長代理研修会において示し、各学校経営の参考とするよう要請した。

### 一、目的

各学校の教科指導および管理運営の改

員会に議案として提出され正式決定をみ、九月十九日付教育長通達をもって公表された。この県立高等学校入学者選抜要項によつて県立高等学校六十一校が学力検査を実施することになったのである。

つぎに学力検査問題の作成に當つては事務局を主体とした問題作成委員会が構成され、二回延日数四日間、慎重な審議を終つて必修八教科、選択二教科にわたる学力検査問題二種（三月二十二日実施分と四月四日実施分）を作成した。印刷の工程においても、きわめて周到な注意のもとに実施され当事者の苦勞は例年のことながら容易なものでなかつた。さらに学力検査の結果を反省し、中学校における学習指導の参考とするともに次年度問題作成の資料をうるための調査は学校教育課において行った。

善向上をはかるとともに、各地区教員の参加により共同研修を行い、県立学校教育の向上をはかる。

### 二、訪問者

事務局学校教育課・保健体育課・指導主事および管理主事・英語科指導者